

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年12月20日

事業所名 こぼんはうさくら西大宮教室

保護者等数(児童数) 15(16)

回収数 14

割合 93%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		1	他のデイサービスより人数が多く、送迎時の先生も複数児童乗車時は一人多くて安心です。	専門性に関しては、事業所内外の研修などを活用し、向上に努めていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	2				各フロア内は段差はなく、階段には手すりが設置されている。安全上の配慮が必要な場合には、手すりを使用するように声掛けや手添えの支援を行っている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14				面談での話をもとに手厚く作成されています。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14				個別課題や様々な活動がたくさんあり、いつもありがたいです。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	6		2	1回児童館へ行ったことを教えて頂いたことがあります。子どもの声が苦手なのですが、機会があったら参加してみたいです。	近隣の児童館の利用制限がなくなり、利用を再開した。今後は利用頻度を高め、児童館のイベント参加なども検討していく。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				毎回細かく説明があります。迎えの時にその日の出来事を話してくれる。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14				面談や連絡帳、送迎などに教えて頂き、理解はできている方だと思います。お迎え時にその日の出来事を話してくれる。	連絡帳や送迎時の申し送りなどを通して、ご家庭や学校、事業所での様子を共有し、課題などへの取り組みにつなげていきたい。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14				困ったことがあるときに話を聞いてくれるので安心しています。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	4				毎年保護者会を開催している。勉強会や見学会開催については検討中。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1			苦情は今までないのですが、子どものトラブルに対して連絡いただいで対応してもらっています。	ご家庭から連絡帳などを通じて苦情があれば、対応窓口につなげ、しかるべき対応をしている。児童からの苦情に対しても、ご家庭や関係機関と連携し、解決に向けて対応している。体制については重説に記載をしているが、面談を通じて改めて周知していく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14					こぼんだよりやインスタで様子がよくわかりカラー写真からも分かり、毎回楽しみです。SNSでの発信があり、こぼんでの様子がわかるので嬉しい。
14 個人情報に十分注意しているか	14						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	2		1	お知らせ頂いています。	教室玄関にマニュアルは設置し、閲覧できるようになっている。今後は面談や保護者会などでも説明し、不明点の解消に努めていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2			行っているのをこぼんだよりで見たことがあります。	避難、通報など必要な訓練以外にも、随時訓練を行うよう今後は活動に組み込んでいく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14				長期休みや祭日に毎朝楽しみにしています。放課後も楽しむことが多いと思います。学校より楽しみにしている。	
	18 事業所の支援に満足しているか	14				学校より手厚く、いつも成長していることが多く助かと家庭で話しています。色々イベントを考えてもらい子どもも親も満足している。	

226 18 0 4

91%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年12月20日

事業所名 こばんはうさくら西大宮教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	活動内容によって部屋を使い分け、児童が各々の活動に取り組みやすいようにしている。	面積は適切である。プログラムによっては机椅子の配置などをその都度変更し、活動するスペースを確保している。
	2 職員の配置数は適切である	8		勤務表による職員(数)の確認、事前の役割分担を行っている。	急な体調不良など当日職員が欠員になる場合は、教室間でフォローしている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	各フロア内は段差はなく、階段には手すりが設置されている。入口のところにスロープがあると良い。	現在スロープの設置予定はない。安全上の配慮が必要な場合には、手すりを使用するように声掛けや手添えの支援を行っている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		非常勤職員も会議に積極的に参加し、意見交換をしている。	デイリーで業務内容・目標をチームで確認・共有し、PDCAサイクルの実践につなげていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		アンケートや面談、口頭や連絡帳などで意見を頂いた時は、職員間で協議し、速やかに改善に努めている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		毎年本部のホームページに公表し、教室だよりにてその旨を周知している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2		現在第三者による評価は行っていない。今後については検討。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		関係機関実施の研修・事業所内研修のアナウンス、参加への声掛けをしている。	勉強会などの実施も検討。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		面談時にご家庭や学校での様子を聞き取り、ご家庭のニーズを把握している。また相談支援事業所のサービス等利用計画や学校の支援プランも参考にしながら計画を作成している。	より丁寧に児童からのニーズを聞き取る機会、把握する工夫を検討する。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	臨床心理士による発達検査(新版K式、WISC IV)を活用している。	左記以外のツールを検討。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8		「おやつ週間」など話し合っってプログラムを考えている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		同領域の活動が続かないよう、同じ曜日に集中しないように調整している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	長期休暇や休日は、放課後ではできない部分に取り組んでいる。	成長に合わせて設定した課題への取り組みをチームとして支援するために、日々の振り返りと職員間での共有を継続していく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		個々の課題と、コミュニケーションをはじめとする集団における課題について、計画に組み込んでいる。	個別支援会議にて、想定される支援の場面を周知し、支援を行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		学校へのお迎えなどで打ち合わせが難しい場合は、紙面などで共有しているが、細かな部分までの確認が難しいことがある。	確認に漏れがないように、打ち合わせ方法については検討していく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		一瞥でその日の児童の様子を把握し、職員間で共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	上記のように支援の様子について職員間で共有し、その記録をチームで確認している。	支援の結果と改善点を日々の振り返りやカンファレンスで確認・共有することを継続する。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		半年に1回の見直しを基本に、課題や支援内容について検討している。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7		将来に必要なスキルの習得をはじめ、児童が自ら選ぶプログラム、工作・体験活動の機会を設けている。		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児童発達管理責任者が参画している。		
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		学校お迎え時に適宜引き渡しに先生に当日の児童の様子などについて尋ねている。ご家庭の了承を得て学校と課題の共有、連携を行う場面もある。		
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	現在該当者はいないが、医療的な事項についてはご家庭を通して主治医からの連絡を受けている。	受け入れる場合は体制の整備を行っていく。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		基本的に、同一建物内の児童発達支援クラスからの児童が継続利用しているため、日々情報を共有している。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1	該当者なし	今後該当者がいる場合は、適切な方法で情報を提供していく。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			必要に応じて支援センターへの相談を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2		公園や児童センターでの自然な関わりの機会はある。	近隣の児童館の利用制限がなくなり、利用を再開した。今後は利用頻度を高め、児童館の放課後の利用、開催イベントへの参加も検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4			今年度より始まった協議会の準備会へ参加している。	協議会への参加を通して関係機関との連携を深めると共に、持ち帰った内容を事業所の運営・支援に役立てていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			日々の振り返り、カンファレンスなどを通して、職員間でも共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1		児童の支援を通して個別にペアレント・トレーニングを行っている。	集団の形では、勉強会という共に学ぶ機会を設けることから実施を検討。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時に説明の他、変更の都度書面などで伝達している。	避難訓練、緊急対応等については、ご家庭の安心につながるよう、定期的な発信をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			連絡帳、申し送りにて日々行うと共に、必要に応じて電話相談を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			年1回の保護者会を開催している。	勉強会、他事業所の見学会の開催を検討中。それらを通じて、保護者同士がにつながる機会を設けていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			ご家庭から連絡帳やメール、送迎時の申し送りなどを通じて苦情があれば、苦情対応窓口につなげ、しかるべき対応を行っている。子どもからの苦情に対しても、保護者や関係機関と連携しながら解決に向けて対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			月1回の教室だより、行事ごとにご家庭宛に手紙や子どもにしおりを配布し、情報を発信している。また、週1回SNSで活動を紹介している。	
	35	個人情報に十分注意している	8			鍵のかかる書庫を使用している。また写真掲載時は各ご家庭に同意を得た上で掲載している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			児童との意思疎通ではそれぞれの特性に応じた方法で行っている。ご家庭の間では連絡帳、メール、電話など複数の手段で連絡できるようにしている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		行事への招待の実績はなし。	地域イベントへの参加などから地域との交流を図っていく。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1		教室玄関にマニュアルは設置し、閲覧できるようになっている。	会議や面談などでも説明し、不明点の解消に努めていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		避難、通報など必要な訓練を毎年実施している。	左記以外にも、随時訓練を行うよう今後は活動に組み込んでいく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			虐待防止研修を年1回行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	5		マニュアルに記載している。	対象児がいる場合、個別支援計画に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1		該当児童なし。保護者からの要望に応える形での対応を行っている。	必要に応じて対応を行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			ヒヤリハット事例はサービス伝達記録にて共有し、対策についても職員間で協議した上で、共有している。	